

地域と共にある学校づくり

信州型コミュニティスクール

取組事例編 6

今回は、国から指定を受けたコミュニティスクールの取組が進んでいる和田学校コミュニティ（長和町立和田小学校・和田中学校）と、信州型コミュニティスクールとして工夫した取組を行っている朝日村立朝日小学校の2事例を紹介します。

和田学校コミュニティ —— 8年目を迎えた学校支援の充実

文部科学省からコミュニティスクールの指定を受けた和田学校コミュニティは、

- ▶地域に育ち、地域に学び、地域を活かす子どもの育成
- ▶子どもを育み、子どもと学び、伝統と文化を伝える地域の活性

を目指し、保育園児から中学生までおよそ13年間にわたって、地域の人々が8つの支援グループを中心に、子どもたちとかわかっています。

授業
支援部

文化歴史
支援部

キャリア体験
支援部

和心学習
支援部

みどり体験
支援部

健康体力向上
支援部

安全安心
支援部

地域交流
支援部

和田地区全体を巻き込んだアントレ学習(生涯学習プログラムガイド集NO.7参照)から8年、活動は広がっていきました。

和心学習支援部が行う最後の生け花教室では、余った花をまとめ小さな花束をつくっていた生徒が、「お世話になりました。」とその花束を講師の方に手渡しました。中学校の先生は「花を生けるだけでなく、心も育てていただいたのですね。」と語りました。

手厚い学校支援により、学習意欲や健康体力の向上だけでなく、地域を愛する気持ちや身近な地域の人を思いやる気持ちが育まれていきました。

来年4月、隣の中学校への統合が決まりました。この8年間の経験が、学校と地域が協働して子どもを育む学校作りへとさらに発展していくのではないのでしょうか。



(東信教育事務所生涯学習課 指導主事 栗林幸治)

朝日村立朝日小学校 — 学校とボランティアを結ぶアイデア

朝日小学校では、信州型コミュニティスクールを推進するなかで、学校の取組を振り返り、次につながる話し合いができる工夫が豊富になされています。地域の方に学校を理解していただきながら、学校と地域の信頼関係を築くための心あたたかなアイデアを紹介します。



居場所づくり

ボランティア談話室をつくり、活動の練習の場や交流の場として利用しています。



- ▶くつろぎのソファでボランティア同士の交流の場に
- ▶ボランティア黒板で次の予定を確認
- ▶仲間の活動が分かる写真等の掲示
- ▶ご意見箱・連絡封筒回収箱の設置



ご意見箱

地域のボランティアが日々の活動の中で子どもや学校の様子について感じたことを投函し、学校と共有しています。



▶ある日のご意見・感想用紙には…

児童と一緒に学ぶことができる喜びが感じられ、楽しく嬉しい気持ちになりました。教えるということは、昔と異なって難しいと思っていましたが、あまり考えず素でいこうと思っています。先生の言葉は、まるで「魔法」のように子ども達の気持ちを変える気がします。さすがプロですね。

これからの活動の参考になる言葉ですね。



ランチミーティング

校長・教頭・栄養教諭・コーディネーター・ボランティアが、給食を食べながら、様々な情報交換をします。

ボランティアとして来ていたけれど、給食は一度も食べたことがなかったので…
こういう経験はうれしいですね。

いつも給食では地域の食材を使うように心がけているんですよ。



このあいだの遠足では、いろいろなハプニングがありましたね。
引率のお手伝いできてよかったです。

次は社会見学があるんですが、どなたか一緒に子どもたちを見てくださる方を募集しています。

では、次の社会見学の引率をしたいのですが、いいでしょうか？

(中信教育事務所生涯学習課 指導主事 三溝和美)



学校支援ボランティア研修 ～子どもが育つ「縁」を結ぶ～ 昭和女子大学 特任教授 興梠 寛 氏 （7月2日開催 参加者41名）



「今日のメンバーは、理想的」——。講師の第一声が示すように、市町村職員、社会教育委員、公民館関係者、学校教職員、PTA、社会福祉協議会、保育サポーター、県職員…など、さまざまな立場の方々が参加する講座となりました。

📖 講義

子どもたちが学ぶ意欲をもつためには、「知の循環する学び」・「学んだことを社会のために役立てる学び」が必要であると、現在アメリカで広がっている「サービス・ラーニング」の紹介がありました。「サービス・ラーニング」とは、教室で学んだ知識や技術を地域社会や地球社会の課題解決に役立てながら社会貢献を行う学習であり、「アクティブ・ラーニング」の一つです。



また、次のような貴重な示唆がありました。

- ・新しい時代は、パートナーシップによる教育の時代であり、「学校支援」から「協働教育」へと意識の変革が必要である。
- ・子どもたちが地域の人々の生き方、働く姿、学ぶ姿に接することで社会の一員としての自覚と責任意識（シチズンシップ）が育まれる。
- ・学校が、まちづくりの核に。ボランティアは貴重な資源であり、学校は地域の「知の循環拠点」である。



📖 演習

学校支援ボランティアをすすめるための課題を学校、ボランティア、コミュニティ、子どもや保護者、コーディネーターの5つの視点を考え、話し合いました。付箋を使って、それぞれの意見をまとめ、活発な話し合いが行われました。

※講義を収録したDVDを作成し、貸出しを行う予定です。

詳細は、長野県生涯学習推進センターにお問い合わせください。

（長野県生涯学習推進センター 専門主事 藤江玲子）



地域の教育力向上研修【移動講座】から

親子の絆を育むコミュニケーション

講師 コーチングオフィスジェイフィールド代表 山口順子 氏（6月29日 | 須坂市）

▶受講者の声

○言葉1つ、聞き方1つで、コミュニケーションのとり方が、大きく変わってしまうことを改めて感じました。

○黙って最後まで聞く重要性がわかりました。今日から実践していきます。

メディア漬けを改善し、子どもらしく育てたい ～すてきな子どもが育ちます～

講師 佐久市教育委員会主幹指導主事 松島恒志 氏（7月12日 | 豊丘村、7月18日 | 小諸市）

▶受講者の声

○忙しい、時間がないというのが、口癖になっていた。もっと、一緒に何かをする時間を増やしたいと思った。

○子どもが生まれてきた時のことを思い出して、胸が熱くなる思いがしました。

信州型コミュニティスクール情報



～目標と現状（県内全小中学校における信州型CSの設置）～

目 標	H25		H26		H27		H28	H29
	3%		30%		50%		75%	100%
調査年・月	H25.12	H26.4	H26.12	H27.4	H27.12	H28.4		
実 績 *	7.9 (44)	13.6 (76)	31.9 (178)	36.5 (202)	45.3 (251)	67.6 (371)		

*「実績」欄…上段：%、下段：(校)

信州型コミュニティスクールが広がりを見せています。学習支援ボランティアさんのおかげによって、子どもたちの学習意欲が高まったという声が寄せられるようになりました。

県教育委員会では、信州型コミュニティスクールアドバイザーを派遣いたします。お困りのことなどありましたら、文化財・生涯学習課へお声がけください。

■■ お問い合わせ先 ■■

長野県教育委員会事務局文化財・生涯学習課 [Tel: 026-235-7437](tel:026-235-7437) E-mail: bunsho@pref.nagano.lg.jp

東信教育事務所生涯学習課 Tel.0267-31-0252

南信教育事務所生涯学習課 Tel.0265-76-6861

南信教育事務所飯田事務所 Tel.0265-53-0460

中信教育事務所生涯学習課 Tel.0263-40-1977

北信教育事務所生涯学習課 Tel.026-234-9552

長野県生涯学習推進センター Tel.0263-53-8822

※この資料は、長野県公式 HP からダウンロードできます ▶▶ <http://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/bunsho/cs.html>